

事業所名		児童デイサービス リズム東伊興				支援プログラム				作成日		2024 年		9 月		1 日	
法人（事業所）理念		社会福祉に寄与していくことで、関わる人々の豊かな生活の増進と社会貢献の推進を図る （ひとり一人の個性を大切にしながら、集団生活の中でお互いを認め合い、健やかな成長を目指す。）															
支援方針		集団での活動（主に運動や調理）を通して、一人一人の特性や能力に応じて役割や作業の分担を行い、達成感や所属意識を高める。 ひとり一人の成長過程や発達段階に応じて目標を定め、スモールステップで着実に成長を実感できるような支援を行う。															
営業時間		平日 休日	13 9	時	00 30	分から	17 16	時	30	分まで	送迎実施の有無		<div>あり</div>	なし	学校お迎えについては学校数の制限あり ※詳細は事業所にお問合せください。		
		ねらい					支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善 生活のリズムや生活習慣の形成 基本的な生活スキルの獲得 生活におけるマネジメントスキルの育成					・心身の健康状態の把握（家庭、学校からの申し送りの確認、通所時の体温測定、活動中の健康観察 など） ・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所、常時活動と余暇、長期休暇中の規則的な生活の維持 など） ・決められた下駄箱、ロッカーに靴や自分の荷物を入れる。手洗いうがいをする。トイレの声掛け・介助（適切な場面ごとに声掛け）など ・個の特性や状況に応じた場の設定、座席の配慮 ・調理活動時の身支度、食への関心、喫食時の姿勢保持、片付け など										
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性への対応					・歩行や軽い運動（ラジオ体操・ストレッチ・サーキット運動・ボール投げ など） ・姿勢の保持（始まりの会、帰りの会での姿勢指導・テーブル作業時の座り方指導 など） ・ダンス活動（音楽や映像に合わせて体を動かす運動） ・調理活動や造形活動を通して手指の感覚や力加減習得の支援（切る、ちぎる、丸める、混ぜる、こねる、にぎる、貼る など） ・言葉の指示のほか絵カード、サイン等によるコミュニケーションの補助 ・包丁の代わりにスケッパーで切るなど安全面を配慮 ・障害特性に合わせた配慮（イヤマフの使用、休憩時間の確保、見学場所の設定 など）										
	認知・行動	認知の特性についての理解と対応 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 （感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動への認知過程の発達、認知から行動の手がかりとなる概念の形成） 行動障害への予防及び対応					・日付、曜日の把握、天気や気温に関する認知の形成（スケジュールボードで確認） など ・時間に関する認知の形成（スケジュールボードの確認、タイマーの活用 など） ・物質の変化と感覚に関する認知の形成（調理活動での作業、粘土、水遊び など） ・空間把握の認知形成（ブロック遊び、積み木、ボール遊び など） ・季節の変化への興味などの感性の形成（季節のぬりえや造形、イベント、屋外活動 など） ・小集団による遊びやゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 ・歩行活動時の交通ルール（左側を歩く、信号の理解、交差点での安全確認 など）										
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上 言語の受容と表出 言語の形成と活用 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 コミュニケーション手段の選択と活用 状況に応じたコミュニケーション 読み書き能力の向上					・言語の獲得、聞く力の形成（調理活動時の手順説明、読み聞かせ、パネルシアター など） ・言語の受容、表出支援（宿題や課題取組時の質問、始まりの会や帰りの会での発言機会、あいさつ など） ・カード（絵カードによるカードマッチング、かるた遊びなど） ・運動ゲームでのペア組みや自由遊びでの遊具の貸し借り ・個別又は小集団での読み書き（個に合わせたワークを使った指導、絵カードなどを使ったゲーム、宿題の見守り など） ・名札の使用（ロッカー、下駄箱の掲示）手洗いうがい、トイレ確認用の両面マグネットを使用し、済んだら裏返す。（自分の名前の確認） ・言語に特性がある利用者様への配慮（絵カードやサインを使ったコミュニケーション支援 など）										
	人間関係 社会性	アタッチメント（愛着）の形成と安定 情緒の安定 他者との関わり（人間関係）の形成 遊びを通じた社会性の発達 自己の理解と行動の調整 仲間づくりと集団への参加					・アタッチメントの形成（スキップ遊び、肯定感や自尊心を高める前向きな声かけ など） ・スケジュールの周知、確認（始まりの会や活動時の事前説明を受けることで安心感を持たせる） ・他者との関わりの形成（調理活動での共同作業、見立て遊び、ごっこ遊び、小チームでの対戦ゲーム など） ・壁面掲示物づくり、季節のイベント開催、役割分担のある調理活動や協同遊び、ルールの理解が必要な遊び、集団活動 など ・活動参加への自己決定の尊重（参加できない場合、過ごし方をいくつかの選択肢から選ぶ等の配慮） ・社会資源の活用（公共施設等での活動【公園、児童館等】、社会見学【資料館、博物館、体験型施設等】など）										
家族支援		・利用者様の支援方針の共有、および情報交換 ・ご家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助（ご兄弟を含む） ・レスパイト確保や預かりニーズに対する延長支援								移行支援		・地域の児童館での一般児童との場の共有 ・小学校、中学校、高校への情報提供を通した切れ目ない支援 ・学校・家庭と連携をしながら個々に合わせた自立へ向けた支援					
地域支援・地域連携		・開かれた事業所づくり。（見学の随時受け入れ・情報提供など） ・こども発達支援事業所ネットワークへの参加								職員の質の向上		・定期的な研修の実施 ・外部研修（自治体主催など）への職員の派遣 ・人事交流					
主な行事等		・初詣 ・節分 ・お花見散歩 ・水遊び ・夏祭り ・ハロウィーン ・クリスマス ・季節行事（造形物や掲示物の作成） ・防災訓練施設での体験活動 ・旬を意識したおやつ作り															